



<CAM フィリピン・リサーチ・レポート>

2019年10月17日

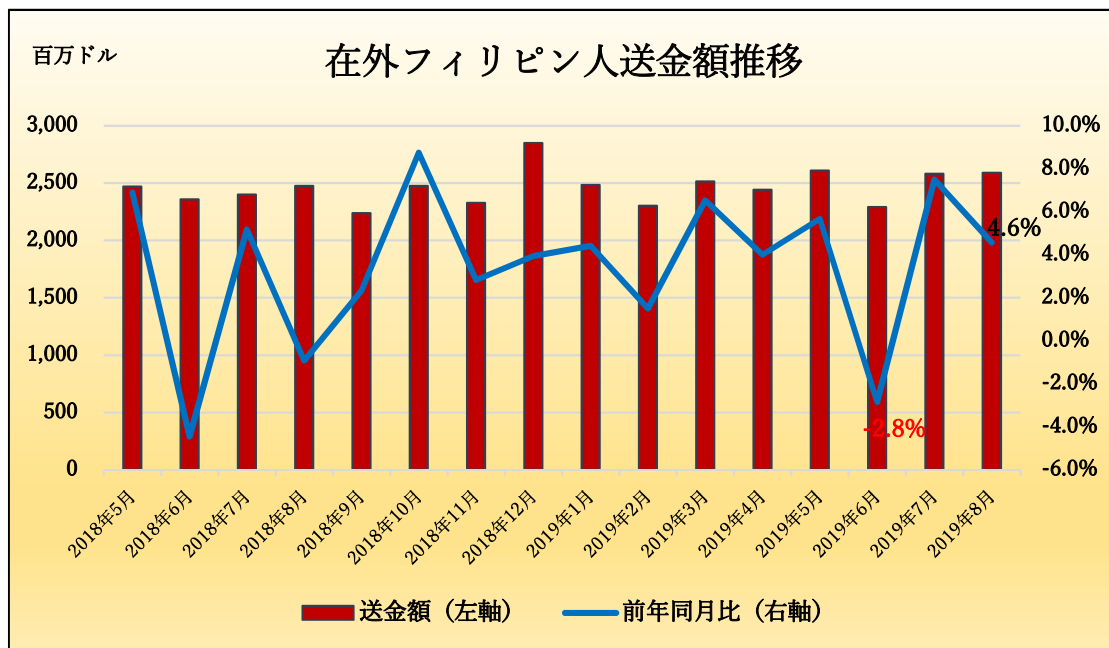
フィリピンの8月海外送金

前年同月比+4.6%

フィリピン中央銀行の発表によると、2019年8月のフィリピン人海外出稼ぎ労働者（OFW）を含む在外フィリピン人からの送金額（銀行経由のみ）は、前年同月比+4.6%の25.9億ドル（約2,818億円）だった。

2019年は6月こそ前年比でマイナスとなったが、その他の月は前年比でプラスであり、1～8月累計では前年同期比+3.9%となっている。家政婦（メイド）など陸上就労者からの送金額が155億ドル（同+2.8%）、船員など海上就労者からの送金が43億ドル（同+8.2%）。

国・地域別では、米国からの送金が全体の37.0%で最も多い。在外フィリピン人からの送金はフィリピンに住む世帯の大きな収入源で、経済成長の原動力になっているとされている。



出所：フィリピン中央銀行

以上